

整理番号	HT30279	分野	医歯薬学	キーワード	障害者理解、精神障害者
------	---------	----	------	-------	-------------

研究機関名	沖縄キリスト教学院大学				
プログラム名	障害者雇用の重要性とその課題				
先生(代表者)	近藤 功行(こんどう のりゆき)人文学部・教授				
自己紹介	<p>大学院博士課程在籍中、日本学術振興会特別研究員 DC・PD 採用、DC＝琉球大学第1号・PD＝山口大学第1号となりました。大学院生時代は、人類生態学・公衆衛生学をベースとした研究に関心を持っていました。特に、フィールドワークを基とした基礎的な研究です。その頃からずっと、終末期医療・ターミナルケア・在宅介護に関わる内容や終(つい)・死の場所に関して、与論島を通して調査研究を継続してきています。「沖縄の昔を見るみたいだ」と、沖縄から与論島にやってきたオジイ・オバアはそう語ります。何で、でしょう。「何でかねえ!？」。今回の研究紹介は奄美大島からが中心です。「何でかねえ!？」が、そもそも研究の走りです。探求を5年10年とやってゆくことで、この「何でかねえ!？」のいくつかが解明されるのではと考えます。セレンディピティ(serendipity)を、つかむことが大事です。今夏、1日だけのプログラムですが、一緒に体験をしましょう。そして、一緒に走ってゆきましょう。</p>				
開催日時・募集対象	平成30年8月11日(土)	受講対象者	高校生	募集人数	30名
集合場所・時間	沖縄キリスト教学院大学 南3-5教室		(集合時間)	10時15分	
開催会場	<p>沖縄キリスト教学院大学 住所: 〒903-0207 沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地 アクセスマップ URL: <a href="https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/access/kotu_map/">https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/access/kotu_map/</a></p>				
<b>内 容</b>					
<p>まず、今回実施するプログラムは、実施担当者の所属する大学への進学目的となるものではない。これから、県内外の医療・保健・福祉分野への進学を目指す受講生を対象としたい。また、大学入学後、小・中学校の教員免許を取得する上で、介護等体験の実習科目履修がある。そのため、教員免許取得者(＝教育学部で当該内容を免除される受講生へも、本プログラム受講はお奨めとなる。)としたい。つまり、教職関連では、身体・知的・精神障害者内容を学ぶ中、奄美大島から発信の内容を聞くチャンスがある。医療・福祉・保健系への進学、その先で大学院進学を考えている受講生、また教員免許を取得する希望を持っている受講生にとって、入学した大学でも障害者理解・障害者雇用内容を学ぶことになるが、琉球弧の1離島、奄美大島からの内容を学ぶチャンスは、鹿児島県内の大学でも、難しいと考える。奄美大島の現状、外来講師が障害者施設設立に至る経緯などを知る機会、この場でしか味わえない。まさに、医療福祉の神髄を披露したい。夏休み始めの1日、本プログラムに費やしていただきたい。実施にあたっては、受講生の皆さんが、将来、研究&amp;教育を目指すこと、大学院で学ぶ場合も想定したい。実施担当者は、医学系学会・医師免許取得を前にした医学教育に現在も関わっている。そこでは、障害者就労がとても大事であると痛感している。盲点になっている場合が、多々あるからである。無事プログラム終了となった後、残っている冊子、またこの後作成する冊子から、参加した時の内容を振り返っていただきたい。人生の中で、この時の振り返り、そのお手伝いを、実施者は行いたい。そもそも、「何でかねえ～」から始まるのが、研究であるとすれば、研究とは何か、受講者とこの夏の1日を一緒にするこ</p>					

とで、探求してみたい。地域研究から引き出されるもの、そこにはロマンがある。科学は、ロマンであると称したのは、東北大学・大橋英寿名誉教授であるが、沖縄で語られたその言葉が、実施代表者の脳裏に焼き付いている。何某かの、こうした焼き付く内容が残ることが1つの成果でもあろう。

スケジュール		持 ち 物
10:15	受付(集合場所:本学南棟 3-5 教室)	筆記用具、ノート
10:30~10:45	開会宣言。担当者挨拶。お手伝い学生 & スタッフ紹介。プログラム内容の紹介。「科学研究費(科研費:カケンヒ)」の説明について(研究代表者:近藤功行から)	
10:45~11:00	用意した用紙(A4 版 1 枚)に絵を書いて貰う。①今と将来を結びつける内容、②障害者理解をどうとらえているかを知る 1 つの手がかりとなる絵。	<b>特 記 事 項</b> ① 本内容に関する予備知識は、まったく不要です。 ② 開催校(沖縄キリスト教学院大学または沖縄キリスト教短期大学)への受験とは全く関係のない、受講者の進路にあわせた日本学術振興会実施のプログラムです。 ③ 本プログラム実施にあたっての記載の中では、「障害者」「障害」の用語記載について、定款(=法律用語)として、そのままこの用語を用いる場合もあるため、「障がい」などと記さずに、「障害」で統一しています。ご理解ください。
11:00~11:10	(休憩)	
11:10~11:55	近藤功行談話:科学研究費で目指したもの・目指しているもの。科学研究費獲得の重要性と今回、紹介したい研究から。	
11:55~13:00	(お昼休み:弁当・御菓子支給)	
13:00~13:45	恵川龍一郎所長の講話:精神科病院と精神障害/回復者小規模作業所、こうした精神障害者(回復者)の就労の重要性を奄美大島から発信する視点	
13:45~13:55	(休憩)	
13:55~14:40	近藤・恵川所長講話:精神障害者(回復者)理解はなぜ必要なのか。	
14:40~14:50	(休憩)	
14:50~15:30	総括。受講者の皆さんからの感想や意見発表。午前中実施の①②の絵の解説(①=恵川龍一郎所長、②=近藤功行、から)。	
15:30~15:45	今回の企画に関してのアンケート記入時間(トイレ休憩可)	
15:45~16:00	『未来博士号』の授与(受講者 1 人 1 人に手渡し)	
16:00~16:10	会場内の後片付け(みんなで)。プログラム終了宣言(主催者:近藤功行)。解散	

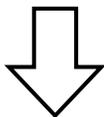
### 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名 :	沖縄キリスト教学院大学 企画推進課 金城 太(きんじょう ふとし)
住 所 :	沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地
TEL 番号 :	098-946-4161
FAX 番号 :	098-946-1241
E - m a i l :	kikaku@ocjc.ac.jp
申込締切日 :	平成30年7月20日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
近藤功行	H17-18	基盤研究(C)	17590465	精神障害者、回復者の就労をめぐる医療社会学的研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。